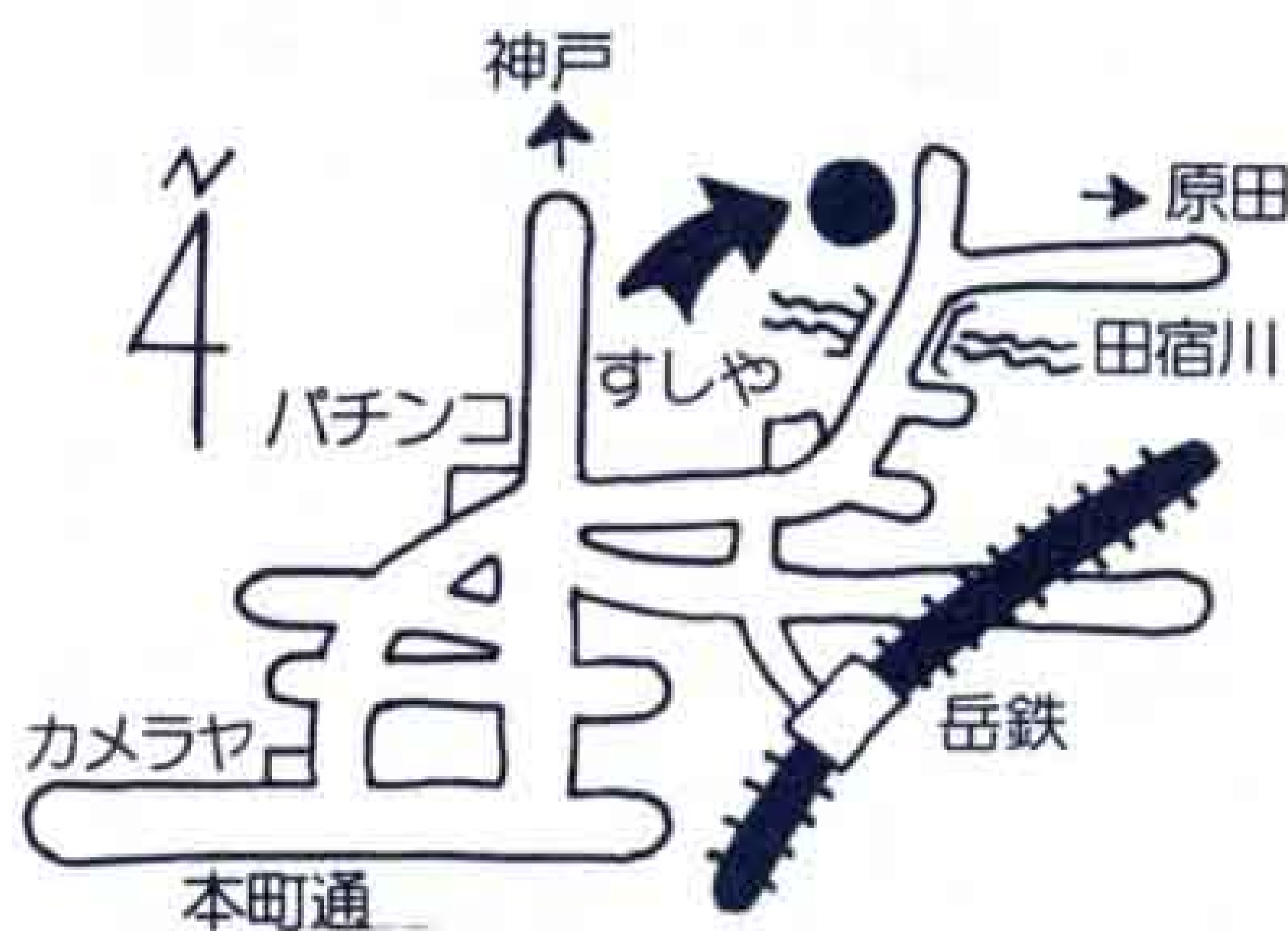


じせつめぐり



市立中央図書館



夏休みの宿題調べや、読書好きな人たちに利用されている図書館。

昭和39年に開館し、年間10万人以上が利用しています。

蔵書数は、7万5,000冊で200人が一度に本を読める閲覧室。子どもたちのための児童閲覧室などがあります。

目の不自由な人のために700巻の声の図書（カセットテープ）もあり

ます。

本の貸出しは、規則により1人3冊、2週間以内ですが、読書能力がある人には3冊以上貸出すこともできます。

開館時間は、午前9時から午後5時までで、毎週火曜日が休みです。

また昨年11月に西部地区の図書館として、富士第1小学校南側に西図書館が開館しました。

表紙のことば



手すきの紙を見せてくれた
佐野大輔君（富士第二小）

市立博物館は、市内の小学校5年生を対象に8月6日から18日までのうち4日間、「和紙づくり」講座を開きました。

紙について、紙の都にふさわしい知識を身につけようと慣れぬ手つきで74人が和紙づくりに挑戦しました。

学級の先生に、すすめられて参加した佐野大輔君は「自分ですいた紙でうちわと紙人形をつくりました」と話してくれました。

ぼくの夢 わたしの夢

運転手になりたい



大淵第二小 六年
渡辺 司君

ぼくの夢は、11トン車の大型トラックの運転手になることです。トラックが、ガーガーと音と共に走ってくるとぼくはトラックに引きずりこまれる感じがします。あの乗っている気分、車の王様みたいなあの大きさ、力強く走るトラック、底力のする音将来はトラックに乗って遠くへ走って行きたい。もちろん安全運転で運転手の手本になりたいと思います。

作詞家になりたい



大淵第二小 六年
望月美和子さん

わたしは、今とてもなってみいたいなあ—と思っているのは、作詞家です。テレビを見ていて、いい詞だなあ。と思い、それがきっかけになりました。何度も、作ってみたいけれどなかなかうまくいきません。

まだまだ書くことがたりないのだと思います。いろいろな機会にこれからはもっと物の見かたを変えてぐんぐん書こうと思います。

この夢がかなえられるまで、がんばります。